

特別企画技術講座（賛助会員参加無料）/CEMSAR 登録審査員 CPD 対象講座

# 生産性と省エネの両立を図る連携制御

～IoTを活用した設備・システムの全体最適制御と新たな省エネ手法・事例～

日時：平成 29 年 12 月 13 日(水)15:00～17:30（交流会：17:40～18:30）

場所：省エネルギーセンター 4F 会議室(港区芝浦)

連携制御とは、需要と供給のミスマッチによる無駄や複数の供給設備間で生じる無駄を削減するため、需要側・供給側の設備同士を互いに連携させ、全体を最適に制御する技術です。

既存設備の能力の有効利用により、機器単体での省エネと比べて大きな費用対効果が得られることもあります。

本セミナーでは、IoT 技術の活用により多様化した連携制御技術の概要と省エネに直結する最新技術の実例を豊富な事例とともにご紹介します。また、省エネチューニングから一歩踏み込んだ連携制御による省エネ事例、圧空の代表的省エネ対策である吐出圧低減と省エネ効果が同時に計算できるソフトなどをご紹介します。

セミナーの後は、参加者同士の交流や事業者の悩みなどをお聞きする場として、交流会を実施致します。是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。



主な受講対象者：

- \*工場・ビルのエネルギー管理担当者
- \*省エネソリューション事業者
- \*計測機器メーカー技術者・営業職等

## 講演内容

No	テーマ	時間	講師	内容
1	生産性と省エネの両立を図る連携制御	15:00-17:00	一般社団法人電子情報技術産業協会 制御・エネルギー管理専門委員会委員 松井 哲郎様/富士電機株式会社 池山 智之様/横河電機株式会社	連携制御の概要と導入事例 ・需要に合わせた供給設備の運転制御(需給連携) ・供給設備内の機器の最適組合せ(供給連携) ・供給設備の制約による需要調整(需給双方向連携)、需要設備同士の連携(需需連携) ・生産計画や気象予報等に基づいた供給設備の制御等による操業の最適化
2	連携制御による省エネ改善実施例	17:00-17:30	一般財団法人省エネルギーセンター 秋山 俊一/省エネ技術総括部長	・省エネチューニングから一歩踏み込んだ連携制御活用による省エネ事例 ・圧空計算ソフト
3	交流会	17:40-18:30		情報・意見交換・相談等

## 受講要領

1. 定員 先着34名 ※賛助会員は原則1事業者1名
2. 申込み方法 下記の参加申込書に記入後、ファックスまたは E メールにてお申込み下さい
3. 受講料（消費税込） 一般：12,000円 CEMSAR 登録審査員：10,000円 賛助会員：無料
4. 支払い方法 請求書がお手元に到着次第、指定の口座にお振り込みください（振込み手数料はご負担願います）
5. キャンセルについて キャンセルは実施（前日起算）7日前迄です。それ以降のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料はご請求いたします。また、受講料入金後のキャンセルも実施（前日起算）7日前迄です。それ以降のキャンセルによる返金はできませんのでご了承ください。
6. 申込み/問合せ先 一般財団法人 省エネルギーセンター 人材育成事業部 E-mail：teceduc@eccj.or.jp  
〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5 五十嵐ビルディング TEL:03-5439-9774

12/13「生産性と省エネの両立を図る連携制御」 受講申込書 申込日：平成 29 年 月 日

■会社名・事業所名	<input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 一般 (会員 No. _____)	センター使用欄
■所在地 〒 _____	お支払予定日：平成 29 年 月 日	■申込責任者名（所属部署名・役職） ※請求書、受講票送付先
■電話 _____	■Fax _____	■E-mail _____

## ■受講者記入欄

交流会	フリガナ	所属部署	受講料
<input type="checkbox"/> 参加	受講者氏名		円
<input type="checkbox"/> 不参加		電話	E-mail

お申し込みは FAX : 03-5439-9776 またはメール teceduc@eccj.or.jp まで